



## 第 4 部

# 地域別構想



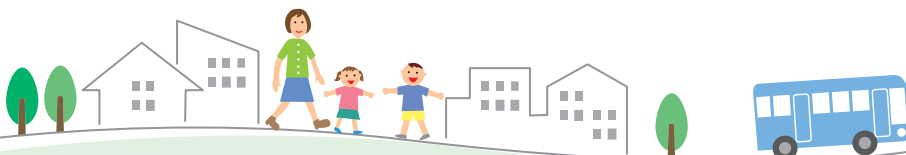
# 1 地域別構想の区分

第4部では、本市の特性が異なる地域別に課題を抽出し、それぞれの地域別の整備方針等を整理します。具体的な地域別構想の区分は、合併前の旧市町村区分より①小林地域、②須木地域、③野尻地域とします。

但し、小林地域については、①-1 用途地域内(行政機能、中心商業機能、居住機能、産業機能等、様々な都市活動のための機能の中心地としての役割を担うことが求められる地域)、①-2 用途地域外(都市計画区域内の用途地域外：本市の中心地と一体となって整備、開発及び保全する必要性および合理的な土地利用を推進する必要性が高い地域)、①-3 都市計画区域外(田園環境や自然公園、霧島山系等の豊かな自然を有しており、それらの保全と観光地等としての役割を担う必要性が高い地域)の3区域についても考慮します。



図：地域別構想の区分



## 2 地域別まちづくりの特性と課題

### (1) 地域別の特性

3 地域の特性と各地域の個性化要因を以下に示します。各地域の個性化要因は、市民ワークショップにより列挙された要因です(細野助博著：「まちづくりのスマート革命」より抜粋)。

#### 【小林地域の特性】

##### 本市・西諸県圏域の中心地としての機能を有する地域

本地域は本市のみならず、西諸県圏域の中心地であり、様々な都市・行政機能が集まる地域です。

その一方で、市街地の外側には、霧島の裾野に農業集落が広がっており、清らかな湧水も各地でみられる等、美しい自然・居住空間を有しています。近年では、用途地域外の国道沿いに土地利用・開発がみられており、適正規模の市街化形成および良好な地域環境の保全に対して留意することが求められています。

また、中心市街地活性化について、住民と行政協働でイベント等が継続的に進められています。

#### 【参考：小林地域の個性化要因(活性化に十分な要素)】

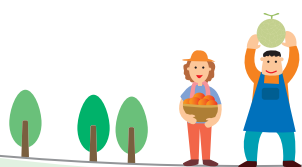
- ・民泊
- ・生駒高原
- ・温泉
- ・プラネタリウム施設
- ・西諸地域の中心地であること

#### 【須木地域の特性】

##### 豊かな自然・山村資源を有する地域

須木に広がる豊かな自然・集落は、中山間地域の衰退が続く、我が国においても貴重・個性的で魅力的なまちといえます。

本地域では、このような美しい自然・集落風景・営みを地域の宝として、「農家民泊による地域活性化」が、住民・行政協働で積極的に進められています。



### 【参考：須木地域の個性化要因(活性化に十分な要素)】

- ・すき特産のネット販売
- ・すきむらんど
- ・栗／ゆずの生産が多い

### 【野尻地域の特性】

宮崎市や都城市も通勤圏内の「ベッドタウン」としての魅力も有する地域

本地域は市内のみならず、宮崎市や都城市も通勤圏内の位置にあり、以前から「ベッドタウン」としての機能を有しております。

また、これまでも国道 268 号を中心に「花の公園化」が進められてきており、本路線沿線は四季折々の花やイルミネーションが住民・行政協働で進められる等、おもてなしとコミュニティの場は形成されています。

### 【参考：野尻地域の個性化要因(活性化に十分な要素)】

- ・のじりこびあ／ゆ～ぱるのじり
- ・メロン／マンゴーの生産が多い



## (2) 地域別の課題

各地域別の課題について、以下に整理します。

### ① 小林地域(用地地域内)におけるまちづくりの主要課題

#### ・課題1：中心地として活力のあるまちづくり

本地域は、今後も行政機能、中心商業機能、居住機能、産業機能等、様々な都市機能が集積した中心地としての役割を担うことが求められる地域であります。近年では用途地域外での建物着工も顕著であり、商店街の空き店舗増加等、まちなかの活力低下が否めません。

公共交通の利便性等が高い本地域(市の中心地)に、日常生活に必要な施設等を持続的に立地・確保していくためにも、小林駅前土地区画整理事業により創出された都市基盤や、主要公共施設の1つであるJR小林駅等を活かして、居住する人や訪れる人の確保・増加を目指すまちづくりが重要といえます。

また前述の通り、市街地の東側において公園密度が低いことを踏まえて、市内のバランスに配慮した公園整備も必要といえます。

○区画整理地区内写真



○駅前通り商店街(空き店舗)



#### ・課題2：『小林らしさ』を感じられるまちづくり

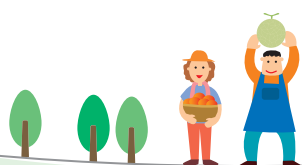
市民アンケートにおいて、今後も住み続けたい理由として『水がおいしいなど自然環境が豊か』という意見が非常に多いことや、居住地区で重要度も高く満足度が高い項目として『自然・緑・水辺の豊かさ、美しさ』があげられていることを勘案すると、居住者の意向として本市の代名詞でもある『水』等を保全することと、これらの資源を上手く取り入れたまちづくりが望まれていると考えられます。

### ② 小林地域(用地地域外)におけるまちづくりの主要課題

#### ・課題：国道沿いの商業施設の立地と田園・居住環境の保持

近年、本地域では、国道221号と国道268号に挟まれた堤地区を中心に商業施設立地等が顕著にみられています。これらの施設は、周辺に居住している人のみに留まらず市域内外の利便性を高めているといえますが、その一方で本市中心地の衰退にも影響を与えていると考えられます。

そのため、中心商店街との機能分担の検討や豊かな田園・居住環境の保持の観点等からの検討が必要といえます。





### ③小林地帯(都市計画区域外)におけるまちづくりの主要課題

#### ・課題：観光交流拠点の保全・活用と田園・居住環境の保全

本地域は豊かな自然を活かした観光地を有しており、これら地域資源(観光地)を活かした交流人口の増加に寄与する機能を有しています。そのため豊かな自然を保全するとともに、本市の中心地と連携した観光交流拠点を形成することが必要だといえます。

### ④須木地域におけるまちづくりの主要課題

#### ・課題：地域拠点(須木地域)としての活性化および拠点間の連携

本地域は自然公園や美しい山林・高原等の地域資源に恵まれた旧須木村の区域であり、地域の特性を活かしながらも他拠点との連携が求められる地域です。本地域の有する美しい自然・集落風景・営みは特に貴重・个性的であることから、これらの地域資源を活かした更なる交流人口の増加が期待でき、今後も積極的な取り組みが必要だといえます。また、居住者の生活利便性の向上に資する地域活性化や他拠点との連携も重要だといえます。

### ⑤野尻地域におけるまちづくりの主要課題

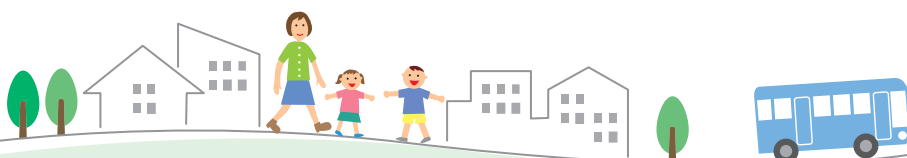
#### ・課題：地域拠点(野尻地域)としての活性化および拠点間の連携

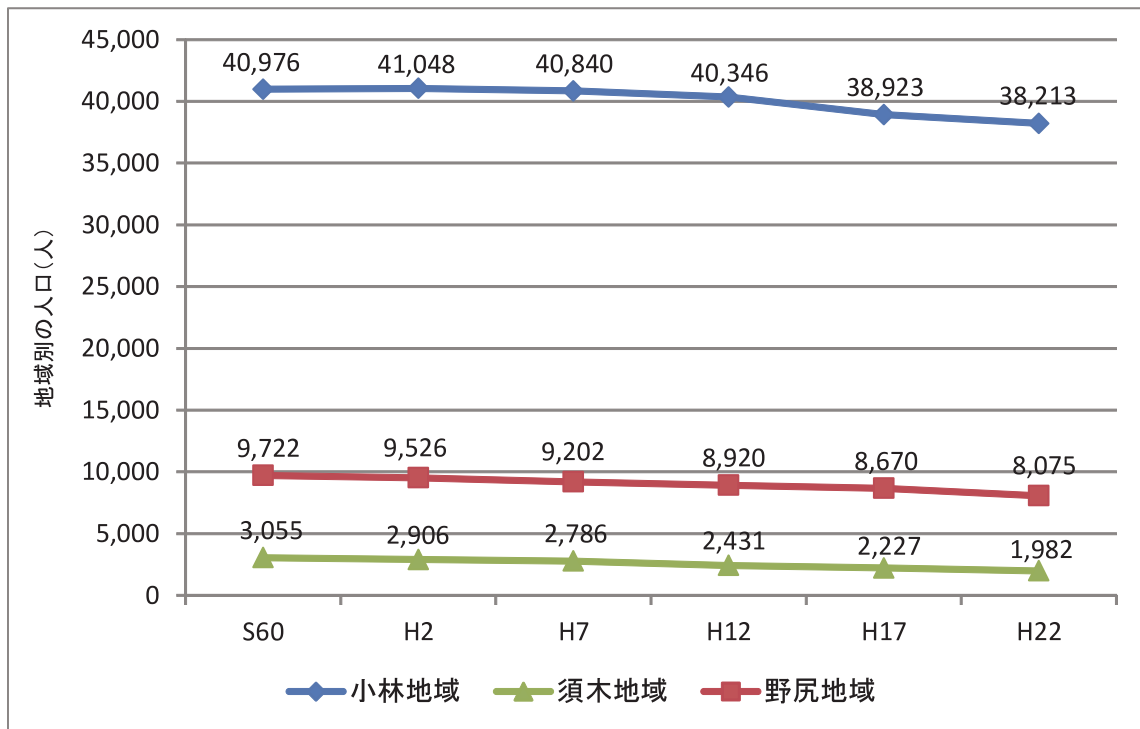
本地域は霧島山系に抱かれた水と緑豊かな環境を有し、園芸や畜産のまちとして発展した旧野尻町の区域であり、地域の特性(園芸や畜産のまち、ベッドタウン)を活かしながらも他拠点との連携が求められる地域です。そのため本地域においては、国道268号を中心に「花の公園化」を進めてきたこれまでの取り組みや地域資源を守りつつ、地域に居住する人の生活利便性を向上する地域の活性化や他拠点との連携が重要だといえます。

### ⑥3地域(小林地帯・須木地域・野尻地域)に共通するまちづくりの主要課題

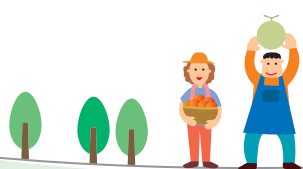
#### ・課題：各地域拠点の特色を活かした居住者数の維持・増加

次頁の図に示すように、本市では3地域(小林地帯・須木地域・野尻地域)のいずれにおいても、人口の減少傾向が続いております。「まち」は人が居住していることが基本であることを考えると、各地域拠点の機能の維持・向上を図っていくためには、各地域での居住者数の維持・増加は不可欠といえます。そこで、それぞれの地域の良さを再認識するとともに、各地域の特色を活かした居住者数の維持・増加策を進める必要があるといえます。



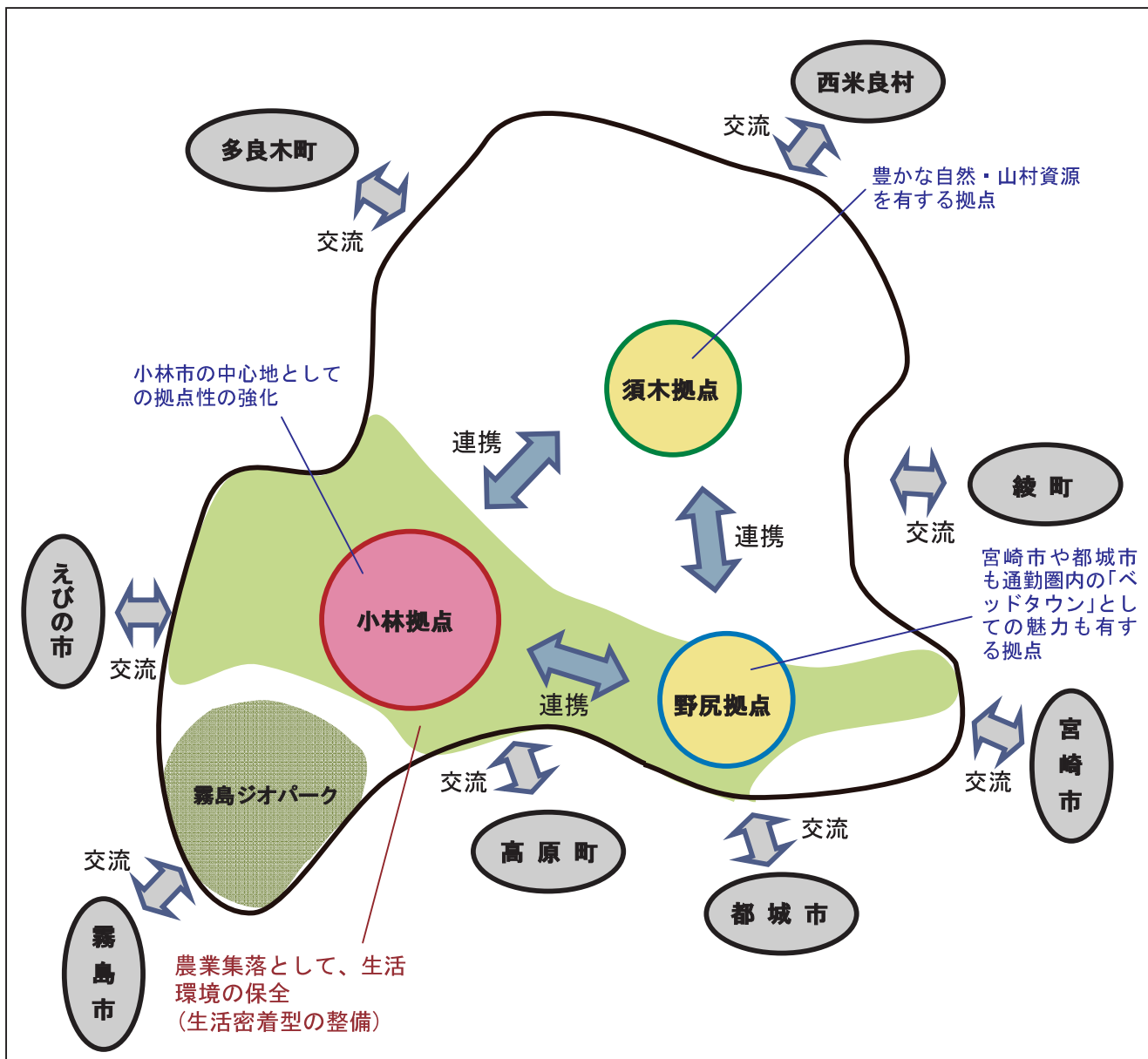


図：3地域(小林地域・須木地域・野尻地域)別の人口推移



### (3) 地域別構想概念図

地域別構想の概念図を以下に示します。本概念図のように、各地域拠点の特色を踏まえたまちづくり方策を展開するとともに、各地域拠点の連携を図ります。



図：地域別構想概念図

